

株主の皆様へ

2021年度(第127期)のご報告

2021年4月1日から2022年3月31日まで



CONTENTS

- トップメッセージ
- 業績ハイライト／セグメント別の概況
- トピックス① サステナビリティ経営の推進
- トピックス② ユーグレナ(和名：ミドリムシ)の将来性に出資
- トピックス③ 2022年度企業広告展開(トビウオジャパン)
- 「個人投資家向けオンライン会社説明会」開催のご案内
- 株主メモ

タキロンシーアイ株式会社

証券コード 4215

社会課題解決型企业として サステナビリティを追求する。



代表取締役社長

齋藤 一也

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

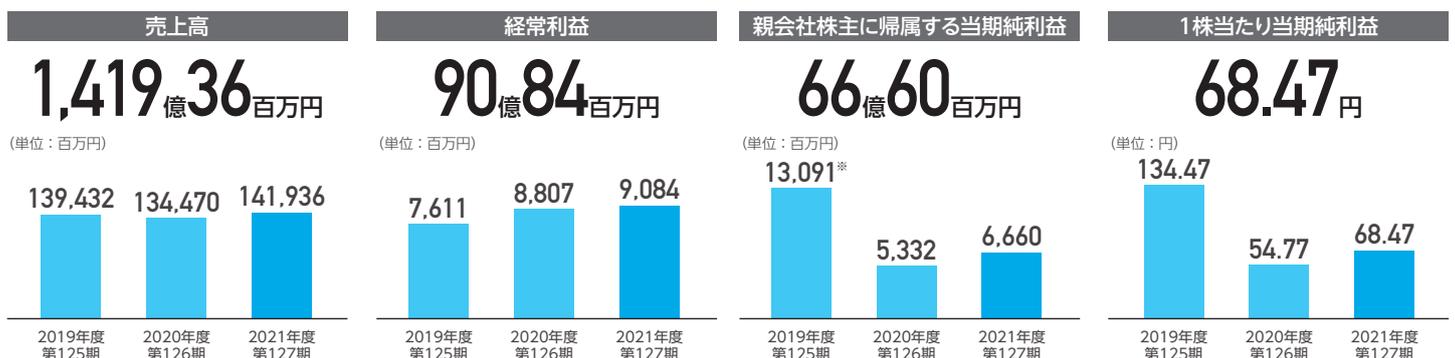
当連結会計年度(2021年4月1日~2022年3月31日)における日本経済は、持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染者数の高止まりの影響により、一部に弱さがみられました。先行きにつきましては、感染対策の定着、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、景気の持ち直しが期待されますが、不安定な国際情勢や金融資本市場の変動、供給面での制約等、引き続き十分な注意が必要です。また、原油価格の高騰により原材料価格は高値を維持しており、販売価格への反映を実施しつつも依然として予断を許さない状況です。

このような環境のもと、中期経営計画「変革への決意 Commit to Transformation 2023(CX2023)」の初年度にあたる当連結会計年度の経営成績は計画を上回り、対前年でも増収増益となりました。引き続きCX2023の2年目として定量目標および6つの重点実施項目の計画達成に向け邁進してまいります。

2021年10月に始動したDX戦略推進部では、業務の効率化や高度化、工場のスマート化による安定生産の実現を、カーボンニュートラル推進グループでは、CO₂排出量の削減に向け取り組みを加速しています。CO₂排出量は2020年度に18年度比で17.2%減となり、コロナ禍による減産の影響も一部あるものの、2023年度目標を大幅に前倒して達成することができました。さらに、今年4月にはサステナビリティ委員会とサステナビリティ戦略部を設置しサステナビリティ経営の体制を強化しました。社会課題解決型企业としてサステナブルな社会の実現に貢献できるよう、当社グループ一丸となり、より一層の成果を追求してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

● 業績ハイライト



※連結子会社における固定資産の譲渡による特別利益を含む。

建築資材事業セグメント

事業の概況(住設建材事業部、床・建装事業部)

- 住宅資材および管工機材部門は、新設住宅着工戸数の回復により堅調に推移。
- 採光建材およびサイネージ部門は、非住宅物件の受注低迷、企業の広告宣伝費削減等の影響を受け低調に推移し事業全体では減収。
- 床・建装事業の床部門は、マンション改修物件の受注増により増収。
- 建装部門は、国内市場ではコロナ禍の影響から回復がみられ、海外市場では欧州、豪州、北米が好調を維持し事業全体として増収。

防煙垂れ壁「ダンスモーク」

火災時に発生する煙の流動を一時的に遮断する防煙垂れ壁「ダンスモーク」は、グラスファイバー強化樹脂の不燃シートで、高透明、軽量、割れにくさが特長で安全性が高く、二次災害のリスクを低減させます。

本部長メッセージ



取締役 専務執行役員
建築資材事業本部長
上田 明裕

建築資材分野において人々の身近なところで快適な住環境に資する商材を提供する当事業本部では、生産における省エネ、リサイクル材、バイオ系原料の導入など環境負荷の低減のみならず、安心、安全はもとより、利便性、意匠性を追求した耐久性の高い製品、更には減災に寄与する製品等を提供することにより、お客様にご満足いただけるようなサステナブルな建築を実現させることに注力しています。

環境資材事業セグメント

事業の概況(アグリ事業部、インフラマテリアル事業部)

- アグリ事業は、原材料価格高騰を反映した次年度価格改定の公表による値上げ前駆け込み需要があり増収。
- インフラマテリアル事業は、更生管事業や産業資材関連の販売は堅調を維持したが、大型工物件の長期停止や工事計画の変更、豪雨や豪雪などの自然災害の影響による工事遅延が継続し、低調な販売により減収。

高機能農業用途布型POフィルム カゲナン5

太陽の光を散乱光に変換し、光の量はそのままにハウスの隅々に光を届け、また作物のやけ抑制・色づき向上など秀品率UPに寄与するフィルムです。

本部長メッセージ

アグリ事業グループでは、2022年4月1日付けで販売会社2社を経営統合し、タキロンシーアイアグリ(株)としてスタートしました。これらグループ各社との連携をさらに深め、営業力を強化するとともに、高品質製品とサービスが融合したビジネスモデルの浸透を図り、国内事業を強化してまいります。

インフラマテリアル事業グループは、2021年4月1日にスタートしたタキロンシーアイシビル(株)を中心に、災害復旧・防災、汚染対策、リニア新幹線、社会インフラリニューアル分野において事業強化を目指しています。これにより、お客様への提案力を高め新たな価値を提供し続けられる事業へと変革してまいります。



取締役 専務執行役員
環境資材事業本部長
三宅 貴久

売上高

444.18 億円

前年同期比 5.4%増 ↑

営業利益

27.16 億円

前年同期比 31.2%増 ↑

売上高

216.25 億円

前年同期比 23.7%増 ↑

営業利益

31.44 億円

前年同期比 74.4%増 ↑

その他 0.5%

(試験機の販売事業等を含む)

31.3%

15.2%

セグメント別
売上高合計

1,419.36 億円

38.0%

15.0%

売上高

538.74 億円

前年同期比 1.9%減 ↓

営業利益

14.5 億円

前年同期比 39.7%減 ↓

売上高

213.52 億円

前年同期比 9.7%増 ↑

営業利益

14.40 億円

前年同期比 27.4%減 ↓

高機能材事業セグメント

事業の概況(高機能材事業部)

- 高機能材事業は、世界的な半導体需要拡大を背景に、製造装置向けの工業用プレート、エンブラ材の販売が伸長。
- 電子回路基板向け等へのナノ材料販売は好調を維持。
- 欧米を中心に新型コロナウイルス対策緩和による消費活動の回復がみられ、眼鏡フレーム用アセテート板の販売が増加。
- マイクロモータの販売は、民生用機器向けを中心に高い水準を維持。

半導体製造装置向けFMプレート

米国損害保険会社FM Globalが制定したクリーンルーム用材料の難燃性基準(FM4910)に適合するFMプレートは、半導体工場の火災に対する安全性に貢献しています。

本部長メッセージ



執行役員
高機能材事業本部長
山崎 孝

高機能材事業本部は、プレートとモータの二部門を擁し、加えてナノ材料、切削材料、アイウェア材料等独自の技術を持つ事業会社の自律的活動とのバランスを取った経営で半導体等、先端技術分野への素材・部材供給を事業の柱としています。

こうした成長分野への供給能力を高め、圧倒的なコスト競争力を実現するための諸施策を実行中です。同時に環境問題、モビリティ分野、ロボット関連等社会の大きな変化に鋭く反応し、新ビジネスの創出にも注力しています。

機能フィルム事業セグメント

事業の概況(ボンセット事業部、サンジップ事業部)

- ボンセット事業は、シュリンクフィルムが国内販売および欧米市場において堅調に推移し増収。
- サンジップ事業は、ジッパーテープが日本国内、アジア、欧州を中心に医薬、食品、ペットフードおよびアパレル関係で好調に推移し増収。

幼児誤飲防止用ジッパー

幼児が簡単に開封しにくい機能を追加したジッパーで、内側にある小さなツマミに指をかけると開封できる構造になっています。幼児による薬品や化学物質等の誤飲防止のために開発した新製品です。

本部長メッセージ

構造改革を着実に進め“高機能”フィルム事業を目指します。生産部門においては生産能力増強、自動化&DX化によるRenovation & Innovationにより、競争力を高めてまいります。

開発および販売部門においてはESG対応型商品の取り組みを強化し、日本・アジア・北米・南米の世界4拠点からの市場開拓により顧客の要請に迅速に応える体制強化を図る所存です。



常務執行役員
機能フィルム事業本部長
島 秀宏

トピックス① タキロンシーアイグループのサステナビリティ経営の推進

【サステナビリティ経営】とは、『企業と社会・環境がともに持続可能であるために、サステナビリティを経営の軸とする考え方』。
当社グループは、持続可能な社会の実現に向けて、サステナビリティ経営を推進します。

サステナビリティ理念体系

Sustainability Vision

今日を支える、明日を変える。

タキロンシーアイグループは人々の今日の暮らしを支え、明日の暮らしを豊かで快適にするために自ら変革する勇気を持って人と地球と未来にやさしいものづくりに挑戦し続けます。



アウトカム

安全・安心

タキロンシーアイのあるべき姿
安心して暮らせる今日を支えるために、安全で信頼できる製品・サービスを安定的に提供し続ける企業

快適・心地よさ

タキロンシーアイのあるべき姿
明日の暮らしを豊かで快適に変えるために、技術とアイデアで時代が求める製品・サービスをつくりだす挑戦を行う企業

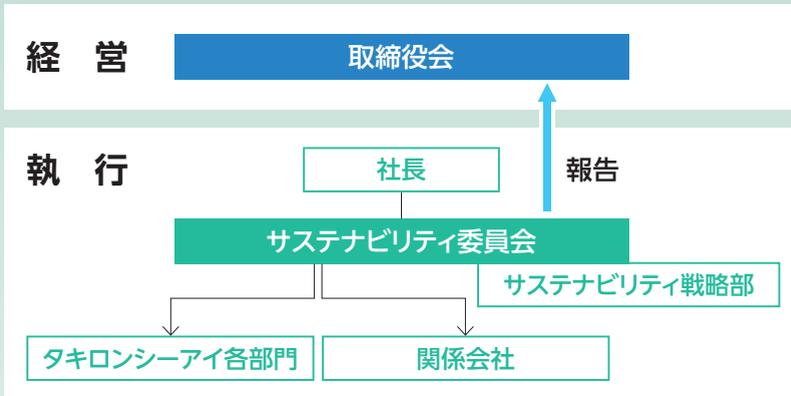
レジリエンス

タキロンシーアイのあるべき姿
社会環境・状況の様々な変化に柔軟に適應するため、常に変革に挑戦し続ける企業

環境

タキロンシーアイのあるべき姿
常に地球環境保護をこころがけ、人と地球と未来にやさしいものづくりを行う企業

サステナビリティ体制図



2022年4月1日に俯瞰的かつ長期的なサステナビリティ経営の戦略と実行をマネジメントする機関として委員長を社長とする「サステナビリティ委員会」を新設しました。加えて、サステナビリティ戦略の実効性を高めグループ全体にて推し進めるために、経営企画部からその機能を切り離し、「サステナビリティ戦略部」を設置し、推進体制を整えました。

サステナビリティ経営のポイント

社会起点でビジネス・経営を考える

私たちは、社会のニーズ・期待を起点として自社のビジネス・経営のあり方を考えます。

社会課題解決型の事業を推進し、気候変動、人権の尊重、生物多様性などのサステナビリティ課題に取り組むことで、社会環境の変化に対応していきます。

気候変動



人権の尊重



生物多様性



ステークホルダーとの対話を重視

私たちは、サステナビリティ経営にはステークホルダーへの開示と対話が重要と考えます。

公式ウェブサイトや統合報告書などの様々な媒体を通じてESG情報などの開示を充実させるとともに、対話を通じて得られた示唆を柔軟に採用することにより、当社グループの持続可能性を高めます。

トピックス② ユーグレナ(和名:ミドリムシ)の将来性に出資

当社は、2022年2月にユーグレナ由来のナノファイバー「パラミロンナノファイバー」(以下、PNF)の商業生産を計画するベンチャー企業、株式会社ユーグリードへ出資しました。これにより、当社グループ製品の用途開発やコンパウンド事業と連携しPNFの可能性を引き出すことを通じて中期経営計画で掲げる「社会課題の解決」「新事業・新製品・新技術の獲得」の実現を目指します。

パラミロンとは、ユーグレナが活動エネルギーとして体内に蓄える多糖類(β-1,3-グルカン)であり、健康食品分野での活用はご存じの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。このパラミロンを精製して得られるPNFは、天然由来のプラスチック強化繊維として注目されているセルロースナノファイバー(以下、CNF)に近い化学構造をもちながら、CNFより低コストで高品質、安定した性能を有しています。これらはユーグリード社独自の自然環境に左右されない屋内タンクを用いた培養方式によって実現しています。当社においては、ユーグリード社の生産するPNFを活用することでCNFの抱える実用化の課題を解決し、将来の天然由来ナノファイバーの社会実装を目指して用途開発に取り組んでいます。



トピックス③ 2022年度 トビウオジャパン

当社グループは、2015年にスタートした競泳日本代表のオフィシャルスポンサーについて2022年度の継続が決定しました。これからも水泳を通じた社会の発展を応援するとともに、トビウオジャパン・スイマーに登場頂いた企業広告活動を行ってまいります。

こちらの広告は、JR大阪駅ビジョン広告、JR品川駅・東京メトロ有楽町線 辰巳駅のサインボードの他、YouTube、Instagram、Twitterなどで広告配信を予定しています。

Concept

キーワードは「未来」

グループ企業理念の【使命】と長期ビジョン【タキロンシーアイ2030ビジョン】にこめられた私たちの「未来」に向かって、力強く進んでいく「勢い」を表現しました。

谷川 亜華葉 選手 AGEHA TANIGAWA
大橋 悠依 選手 YUI OHASHI
本多 灯 選手 TOMORU HONDA

この先に、どんな未来が待っているのか。
それは、誰にもわからない。
ならば、自分でつくりだそう。
うまくいなくてもいい。
何度でも。何度でも。
また、描きなおせるから。

未来よ、ついてこい。

Graphic



当社公式ウェブサイト広告ギャラリーにてMovieを掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.takiron-ci.co.jp/adgallery>



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会の議決権 期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年3月31日 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (受付時間9:00~17:00、 土・日・祝日を除く。)	
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency	
取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店	
単元株式数	100株	
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ	
公告方法	電子公告の方法により行います。 但し、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 ※公告掲載の当社オフィシャルホームページアドレス https://www.takiron-ci.co.jp	

「個人投資家向けオンライン会社説明会」開催のご案内

個人投資家の皆様を対象としたオンライン会社説明会を開催いたします。当社の経営戦略やこれからの展望についてわかりやすくご説明し、当社への理解を深めていただくとともに、より良い信頼関係の構築に努めてまいります。

● 日時：2022年7月2日(土) 11:10~12:00

*詳細は、当社ウェブサイトIR情報に掲載いたしますので、ぜひご覧ください。

<https://www.takiron-ci.co.jp/ir/news.php>



執行役員 経営企画部長
金原 一弘

タキロンシーアイ株式会社

〒108-6031 東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟)
TEL (03)6711-3718

